

砂防えん堤と治山えん堤の違い

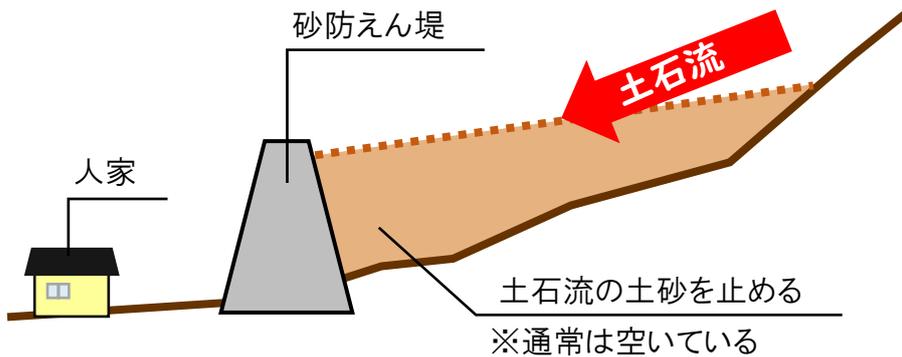
砂防えん堤と治山えん堤は目的も機能も異なります

早稲田学区周辺の溪流には、いくつもえん堤がありますが、このえん堤には「砂防えん堤」と「治山えん堤」があるのをご存知ですか？コンクリートや石積みでできており、見た目や形状も似ているため同じものに見えますが、設置目的も機能も異なります。

1. 「砂防えん堤」は土石流から地域を守る

砂防えん堤は、土石流が溪流を下ってきた場合に、下流側で建物を押しつぶしたりして、人命を奪う被害を発生させない目的で作られます。

砂防えん堤は、土石流をとらえるため、通常、背後には土砂がたまっておらず、土石流の衝撃に耐えられるよう治山えん堤に比べて厚みがある（基本的には3m以上）のが特徴です。

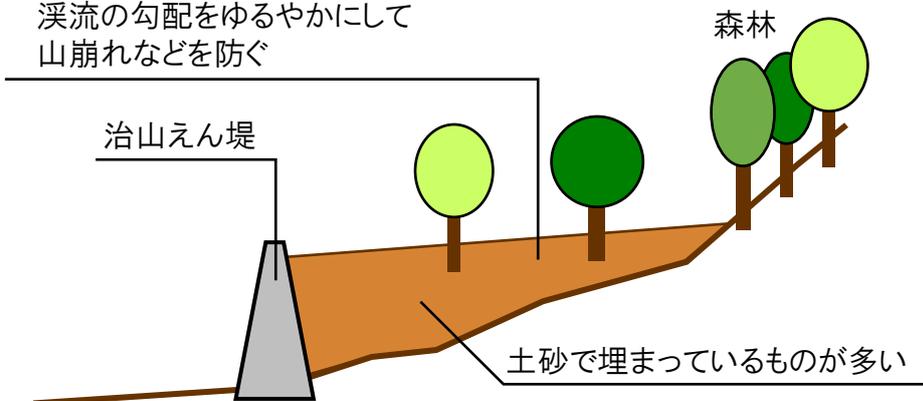


東区上温品にある砂防えん堤

2. 「治山えん堤」は山林の荒廃を防ぐ

治山えん堤は、森林などの維持・造成を行うために設置されます。川底や岸がけずれるような溪流（けいりゅう）では、次第に山が荒れてきて山崩れが発生しやすくなるため、治山えん堤を作って溪流の勾配をゆるやかにし、川底などがけずれにくくします。このため、治山えん堤はすでに土砂が埋まっているものが多いです。

溪流の勾配をゆるやかにして
山崩れなどを防ぐ



牛田東四丁目にある治山えん堤

3. えん堤の役割を知って自分の防災プランを立てましょう

治山えん堤は土石流を止めるための施設ではないため、土砂災害が起こりそうな時に効果を期待するのは避けるべきです。また、砂防えん堤も治山えん堤も治水ダムではなく、水の流れは調節できないので、水はそのまま流れてきます、浸水被害や水と一緒に運ばれてくる土砂には注意が必要です。

早稲田学区内にあるのはすべて「治山えん堤」です！